

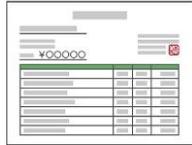


●ユニバーサルデザインについて

市が市民の皆様にお知らせしている健診のご案内や通知書などの帳票のユニバーサルデザイン化に向けて質問いたしました。他の自治体では帳票が読みにくいという声や、高齢者や色弱者の方への配慮のため、帳票にユニバーサルデザインが導入されてきており、「わかりやすさ」の工夫をされています。



わかりやすいデザイン

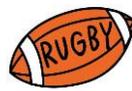


「わかりやすさ」の基準を策定し、客観的な評価と認証を行っている「ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会」では、帳票に対して、情報量や一文あたりの文字数、色彩、レイアウト、難しい言葉の言い換えなどの助言をしており、基準の「わかりやすさ」の品質が認められると認証(UCDA 認証)を与えています。UCDA 認証を取得した自治体では、健康診断の受診率向上や各課への問合せの減少、窓口対応の業務コストの削減等の効果が出ています。世の中に出回る情報量が多くなってきている中で、情報を伝える側も正しく情報が伝わっているかを考えていかなければなりません。「伝える情報」から「伝わる情報」に変えていく必要があります。市長からは積極的に取り組んでいきたいとのご答弁をいただきました。

鎌倉出身の選手がリオデジャネイロオリンピックの代表に



リオデジャネイロオリンピックに鎌倉出身の2名の選手が代表に選ばれました。おめでとうございます。



女子バレーボール 島村春世さん(腰越小学校・腰越中学校出身)
女子7人制ラグビー 谷口令子さん(北鎌倉女子学園中高等学校出身)

島村選手・谷口選手の活躍を信じて心から応援いたします！！

グリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分

腰越駅集合(雨天中止)



☆スケジュール☆

第41回:8月20日

第42回:9月17日

第43回:10月15日

第44回:11月19日

:

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。終了後、意見交換会も行っております。お時間の許す限り、お気軽にご参加ください。

鎌倉市議会議員

ひなた慎吾



活動レポート

1983年6月9日 生まれ (33歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校

→腰越中学校→鎌倉高校→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

今年6月に観光厚生常任委員会委員長に選任されました。腰越在住。



6月定例会の一般質問で行った4項目についてご報告いたします。

●海水浴場について

今夏の新たな取り組み・誰でも安心して訪れる環境づくりに向けて。

●災害対策について

津波対策の強化・防災倉庫の浸水対策・防災無線の難聴エリア対策。

●マイナンバーについて

マイナンバーカードの活用(コンビニ交付手数料安く・サービス拡大)。

●ユニバーサルデザインについて

市のお知らせを分かりやすく、「伝える情報」から「伝わる情報」へ。

6月定例会において、常任委員会委員の所属変更がありました。私は4年連続で観光厚生常任委員会に所属することになり、この度、観光厚生常任委員会委員長に選任されました。

住所: 鎌倉市腰越 3-23-7 連絡先: 0467-32-5889

ホームページ: <http://www.hinata-kamakura.com/>

ブログ: <http://ameblo.jp/hinata-shingo/>

メール: hinata.shingo@gmail.com フェイスブック: 日向慎吾

ツイッター: @HinataShingo インスタグラム: hinata.shingo



討議資料

●海水浴場について



《今年度の鎌倉市の目玉》

① 子ども用ライフジャケットの貸し出し

各海水浴場の監視所において無料で貸し出し。

② ライフセーバーと遊ぼう

海の楽しさと安全な過ごし方を学ぶ教室。

③ エコステーション設置

海水浴場の入口にごみ箱を設置し、
ごみの分別回収を呼びかける取り組み。

①と③については、昨年の一般質問で提案し、今年度の目玉として取り組んでいただきました。



《誰でも安心して訪れる環境づくりに向けて》

これまでも様々な取り組んできましたが、今年は由比ガ浜海水浴場に障がい者用の仮設公衆トイレが設置されることになりました。また、車いす利用者が砂浜を容易に通行できるように海の家が組合がボードウォーク(木の板張りによる遊歩道)の設置を進められているとのことで、市としても協力をしていくとの答弁をいただきました。茨城県大洗町の海水浴場では水陸両用車いすの貸し出しを行うなど障がい者の利便性の向上につながる環境整備をしております。鎌倉市も誰もが自由に安全で快適な海水浴場となるように今後も要望してまいります。

《子供達が安心して楽しく過ごせる場所の提供》

昨年から引き続き提案しておりますが、今年は海の家が組合が子供向けの遊び場を設ける予定があることから、広報等の面で協力していくとのことです。子供達が夏休みに海に行って遊ぶことは海を持つ鎌倉ならではの特別な体験ができます。子供達が集まりやすく、行けば友達に会える場所・子供達が利用しやすい海の家も必要ではないかと考えており、財政面や運営面において難しい課題はありますが、ファミリービーチの実現に向けて進めていきます。



●災害対策について

《津波浸水想定エリアの防災倉庫の浸水対策》

沿岸地域に設置されている防災倉庫は津波来襲時に流される可能性や、津波が来る方向に備蓄品を取りに行かなければならない防災倉庫もあります。防災倉庫に関する基準の一部が見直しされたとのことですので、

地域の事情にもよりますが、高台を提供するなど、いざという時使える防災倉庫の設置を求めました。



《防災行政用無線の難聴エリア対策》

現在、市内の150箇所に設置されていますが、部分的な難聴エリアが存在しております。スピーカーの性能向上や補完対策として、防災安全メール等での情報提供をしていただいておりますが、情報伝達を確実にするには少しでも多くの手段を用意しておくことが重要です。例えば、HPへのアップや防災メールを送信したから防災行政用無線がいらぬという話ではなく、色々な手段を用意しておけば、どれかがダメになっても、他の手段で伝わるかもしれません。伝達手段の一つとして、今後も防災行政無線の整備をお願いしました。

《津波避難路面シートの維持》

津波避難対策の一貫として沿岸地域の路面に貼られましたが、耐久性が約3年ということで剥がれや破損、汚損の箇所が出てきております。現在180箇所設置されており、昨年度は11枚の補修をされたとのことですが、今後は増える可能性もあり、剥がれた状態で上を歩くと滑る危険性が高く早急な貼り替えが必要になります。地域の要望を踏まえた増設や点検、維持管理の体制の確保を求めました。

●マイナンバーについて

マイナンバーカードの普及目標は25%ですが申請者数は11.8%と半分以下です。普及率の向上のためにもサービス機能(公共施設利用カードや病院の診察券、自治体独自のポイントカード等の機能)の拡大と取得メリットの更なる周知を求めました。



《住民票などの証明書の手数料を窓口より安く》

鎌倉市が平成29年度中に実施予定の住民票と印鑑証明書のコンビニ交付(※)について、マイナンバーカードの普及と利用促進のために手数料を窓口より20~150円安くしている自治体があります。コンビニ交付が増えることにより窓口業務の効率化も図れますので、鎌倉市も検討していたことになりました。(住民票だけでも昨年度77,675枚交付)

(※)コンビニ交付：マイナンバーカードを利用することで、コンビニに設置されている機械から住民票などの証明書を取得するサービス